

愛校の日集会



津志田小学校は今年で46年目



津志田小学校は、今年で46年目を迎えます。46年前の10月16日に新しい校歌と校章が発表され、この日を「愛校の日」としました。

新しい学校ができてみんなうれしそうです。

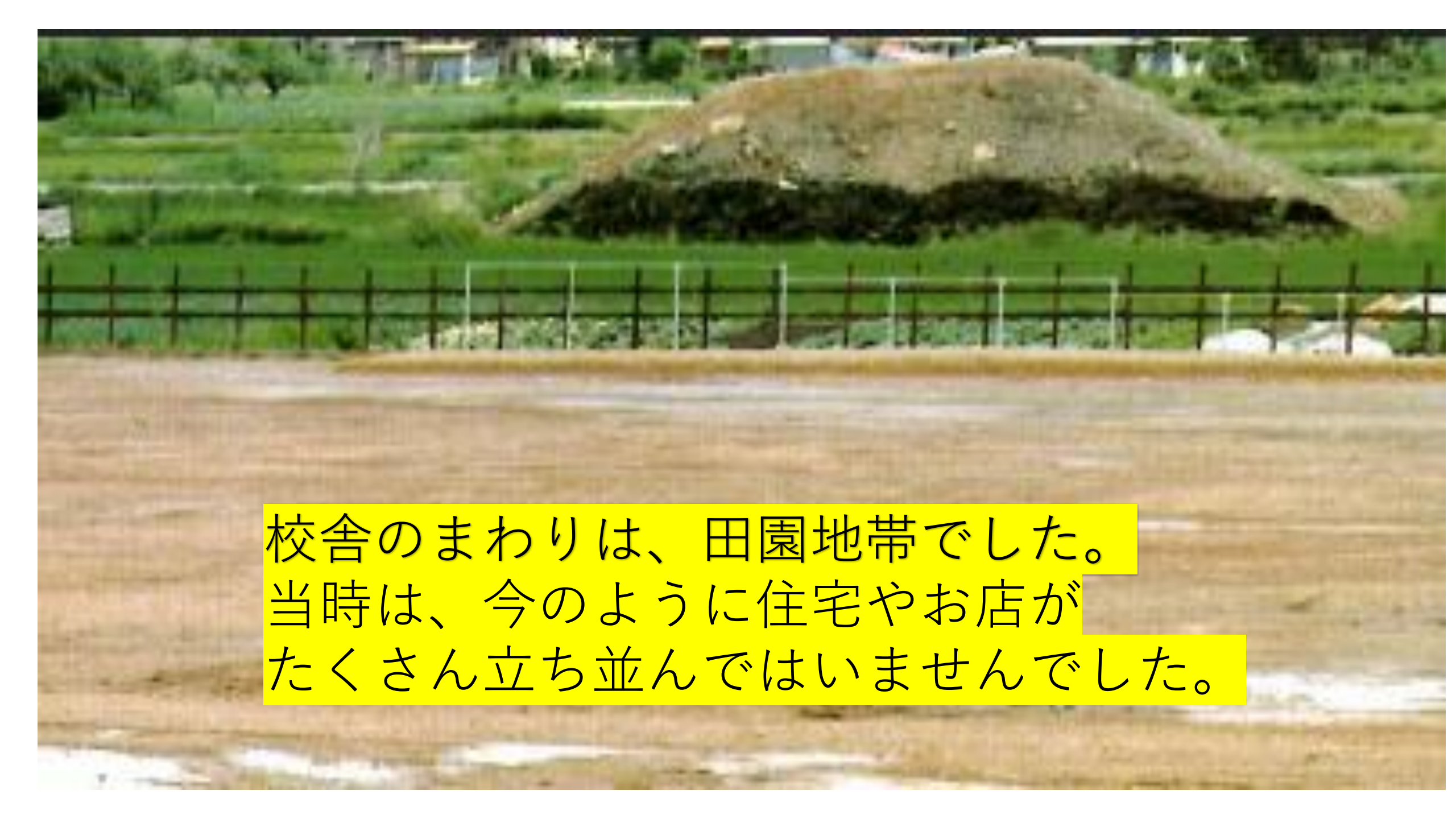


今の校舎ができたばかりの46年前

昭和55年 1980年4月1日 1年・2年棟はありません。



玄関前の庭園には池があり、卒業生は集合写真を撮影していました。



校舎のまわりは、田園地帯でした。
当時は、今のように住宅やお店が
たくさん立ち並んではいませんでした。



校歌の歌詞に「かがよう岡」とあります。北上川や岩手山を望む津志田の地に、明るく希望に満ちた学び舎が開かれた喜びと、一人一人が「かがやく」ようにという思いを託し、「かがよう岡」と名付けられました。作詞をした藤沢康太郎先生のメモと思われるものを発見。校歌に込めた思いが書かれていました。



明治41年7月21日 津志田小学校落成式

津志田小学校の始まりは明治11年。今から148年前です。藤沢太郎吉さんの家に仮設し、その後大國神社の境内に設立されました。この写真は、旧津志田小学校が明治41年に新設された時の落成式の写真です。



津志田小学校は、見前小と統合・分離が繰り返されます。今から65年前、見前小学校津志田分校として、津志田子ども園の場所に建てられ、1～3年生は分校で勉強。6年後、津志田分校は廃止されるのですが、住宅地が増えることにともない児童数が急激に増え、津志田に小学校をつくってほしいという願いが大きくなります。昭和55年、見前小と津志田小の児童は合計で1600人以上。見前小1校で、1600人以上の児童の教室はありません。津志田小学校新設の願いはかないました。



みんなの元気と安全を願って、お願いに行きました



津志田小学校は、開校のときに偕楽園の梅の苗木をいただきました。
今でも、校門の前で大切に育っています。



この梅の木を
大切に育てています。

偕楽園は、
水戸黄門さまとゆかりの
ある場所です！



みんなが元気で、安全に
学校生活を送れるように、
みんなのことをお願いしてきました。



梅の木を未来につなぐように、
わたしたちも、互いを思いやり、
助け合って、毎日を元気に
すごしていきましょう！



水戸黄門さまともご縁のある偕楽園とのつながりを大切に、これからもみんなでがんばっていきましょう！



校章となっている「白梅」は、水戸黄門で有名な、茨城県水戸市の偕楽園の苗木を購入し校門前に植樹したものです。白梅の校章には、「豊かに、たくましく」の願いがこめられています。

津志田小学校ができたとき、校庭にたくさんの木がうえられました。どれも、宮沢賢治の作品に関係する木々です。

豊かに、たくましく育ててほしいという願いがこめられています。



津志田小学校の校庭にはたくさんの木が植えられました。どれも、宮沢賢治の作品に関係する木々です。豊かにたくましく育ててほしいという願いがこめれています。児童用玄関にある卒業記念の銅板レリーフですが、気づいてましたか？児童用玄関に表示され、木々の名前がしめされています。



たくさんの人の思いや願いで建てられた学校です。どんな思いで生活したらよいでしょうか。

感謝の気持ちで むごんそうじ



感謝の気持ちをもって、無言清掃をすることは、学校を大切にすることだけでなく、自分自身の心もみがきます。



そして、津志田小学校で今1番大切にしていることはペップトークです。言葉を大切することは、仲間も自分も大切にすることにつながります。そうすれば、もっと、かがやくがます学校になるはずです。そんな学校をみなさんでつくっていきましょう。

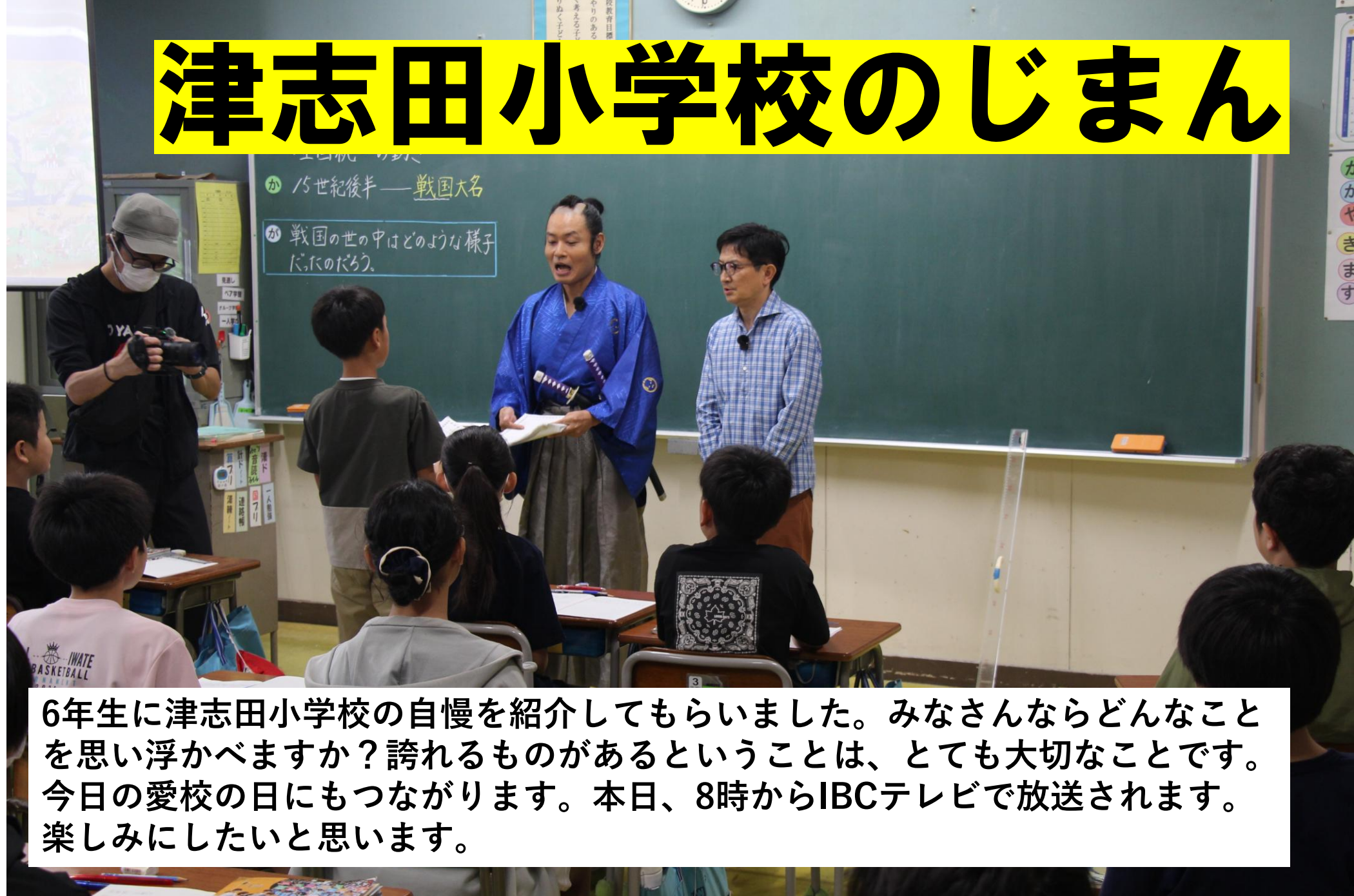
金YO! 瓦BAN



本校卒業生
お侍ちゃんが
津志田小学校に
きました

先日、IBCテレビの取材がありました。お笑い芸人のお侍ちゃんは、津志田小学校卒業生です。「金YO!瓦BAN」という番組で、学校の自慢という新しい企画を始めるにあたり、第1回目はぜひ、自分の母校で行いたいということで来校しました。

津志田小学校のじまん



6年生に津志田小学校の自慢を紹介してもらいました。みなさんならどんなことを思い浮かべますか？誇れるものがあるということは、とても大切なことです。今日の愛校の日にもつながります。本日、8時からIBCテレビで放送されます。楽しみにしたいと思います。